

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年3月22日

計画の名称	京都市における少子・高齢社会に対応した「緑豊かなまちづくり」			
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	京都市	
計画の目標				

緑の基本計画に基づき、様々な規模の公園・緑地を体系的に整備するとともに、緑のネットワーク化等を行うことにより、市域一人当たりの公園面積10㎡/人を目指し、少子・高齢社会に対応した「緑豊かなまちづくり」を推進する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・市域一人当たりの公園面積を4.69㎡/人（H22当初）から4.74㎡/人（H26末）へ増加
 - ・都市公園の新設及び再整備により、遊び・癒し・憩い等の利用目的に応じた利用者へのアピール等に取り組み公園利用者の増加を図る。
- なお、上鳥羽公園においては来園者約2.1万人/年（H22当初推定）から6.0万人（H27以降：増員見込み数）へ増加を見込む。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① 市域一人当たりの公園面積の達成率 公園面積/京都市人口	4.69㎡/人	4.73㎡/人	4.74㎡/人	
② 公園来場者数の増加数（上鳥羽公園）	2.1万人	2.4万人	6.0万人	

全体事業費	合計 (A+B+C)	2,576百万円	A	2,245百万円	B	百万円	C	331百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	12.8%
-------	---------------	----------	---	----------	---	-----	---	--------	-------------------------	-------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本市において評価を実施	平成28年3月
	公表の方法
	本市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-A-1	公園	一般	京都市	直接	京都市	公園事業特定計画調査	市街地の緑視率調査	京都市							3	
1-A-3	公園	一般	京都市	直接	京都市	吸収源対策公園緑地事業	用地4公園、施設17公園	京都市							1,954	
1-A-5	公園	一般	京都市	直接	京都市	都市公園事業（宝が池公園）	用地取得、施設整備	京都市							128	
1-A-6	公園	一般	京都市	直接	京都市	都市公園事業（深草墓園）	施設整備	京都市							160	
合計												2,245				

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H22	H23	H24	H25	H26			
1-C-1	公園	一般	京都市	直接	京都市	公園整備関連工事	上水道接続等（7公園）	京都市							19	
1-C-2	公園	一般	京都市	直接	京都市	公園整備ワークショップ	公園整備に関するワークショップ等（11公園）	京都市							18	
1-C-4	公園	一般	京都市	直接	京都市	公園機能向上事業	動物愛護センター（仮称）建築工事（1公園）	京都市							294	
合計												331				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	公園事業（1-A-3）と一体的に実施することにより、上下水道接続及び注意看板設置、入口道路部バリアフリー化等により、快適で安全な施設利用を促進し、公園利用者の利便性の向上を図る。	
1-C-2	公園事業（1-A-3）と一体的に実施することにより、地域の意見を反映し、地域と連携した公園整備を推進する。	
1-C-4	公園事業（1-A-3）と一体的に実施することにより、緑豊かな公園を整備する際に、隣接する動物愛護センターを設置することで、幼児から高齢者まで世代を超えた交流を促進し、公園利用者の増加を図る。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>①計画に沿った公園整備を行い、市域一人当たりの公園面積が増加した。</p> <p>①都市公園の新設及び再整備により、公園利用者が増加した。</p> <p>②特に上鳥羽公園では、目標値（6万人）を下回ったものの、現況（2.1万人）より大幅に来園者が増加した。</p>			
II 定量的指標の達成状況	指標① 市域一人当たりの公園面積の達成率	最終目標値	4.74㎡/人	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成した。
		最終実績値	4.80㎡/人		
	指標② 公園来場者数の増加数 (上鳥羽公園)	最終目標値	6.0万人	目標値と実績値に差が出た要因	
		最終実績値	4.8万人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>上鳥羽公園については、同公園に隣接している京都動物愛護センターと共にドッグラン等の利用、各種動物愛護等に係るイベントを実施することで、幅広い層の世代に利用していただけるよう、より一層取組を進めていく。</p> <p>また、災害時の広域避難場所に指定されている上鳥羽公園では、本センターを拠点として、「人と動物が共に避難できる施設」としての役割も担っている。</p>					